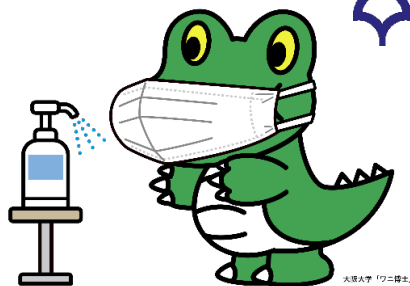


STOP!! ハラスメント

令和5年4月



ハラスメント相談室長からのメッセージ

刀を使う武道の教えとして、「鞘の内（さやのうち）」という言葉があります。これは何か事が起こり、そこで刀を抜いて勝負を争うよりも、抜く前、事が起こる前に勝ちの状況をつくっておくべき、という心得です。事前に十分な備えがあれば、余裕を持って相手に対応でき、場合によっては刀を抜く必要もなくなる、つまり刀は抜いて使うより、抜かずに鞘の中にある方が優れた使い方であるという考え方です。

ハラスメント相談室では、相談者から相談が出され、調整に動きますが、場合によっては解決に時間を要することもあります。事案の調整はハラスメントの対応として重要ですが、一方でハラスメントの予防も大事だと考えています。刀の使い方であれば、抜かなくても済むよう事前に備えておくこと、すなわちハラスメントが起こらない様に、普段から環境を整えておくことです。

具体的にはハラスメントに関する知識、情報を周知、広報し、どのような行動がハラスメントになるのかを全構成員が知っておくこと、また、常日頃からコミュニケーションを充分にとり、互いを理解し尊重する意識を持つことです。そしてハラスメントの兆候には早めに対処し、重大化する前に芽を摘むことが必要です。起こってから対応するよりも、起こらないようにしておくことが重要です。

大阪大学は、ハラスメントを
「見逃しません」「許しません」「厳正に対処します」
みなさん一人一人のご協力をお願いします。

ハラスメント相談室長 坂東 隆男

ハラスメント相談室（秘密厳守）

豊中地区 06-6850-5029、06-6850-6006、06-6850-6505

吹田地区 06-6879-6981、06-6879-6982

箕面地区 072-730-5112

相談希望の方はまずはお電話をください。

大阪大学ウェブサイト https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/life/prevention_sh

